

# サウンドヒーリング講演会 講演会開催報告

長崎 10月28日

## 『サウンドヒーリングライフを長崎から世界へ』

主催：サウンドヒーリング長崎推進会  
長崎セラピスト&ファシリテーター  
1期生 牧島由紀、1期生 尾崎望(文)



2012年サウンドヒーリング長崎推進会では、大きな活動の一つとして2月に第1回ファシリテーター資格認定研修会を開催、10月には第2回サウンドヒーリング講演会を開催しました。  
"なぜ長崎で開催したいのか"私たちは一人一人の意識を明確にし、話し合いを重ねる中、「今年もサウンドヒーリングライフを長崎から世界へ発信していこう！」と、心をついに未来を描き進めていきました。今年のサウンドヒーリング講演会も大成功！サウンドヒーリングに興味を持っている方々がたくさんお越しくださいました。喜田先生の講演では、音の無限の可能性に驚き、メモをとりながら真剣に聞いているお客様の姿があり、ニーニャさんのミニワークショップでは、自分の声でこんなにも心が安らぎリラックスできるんだと実感され、ニーニャさんの歌を聴いて感動のあまり涙を流す方もいました。中村会長をはじめ、全国のセラピストが東京、埼玉、下関から駆け

つけてくださり、愛が響きあう温かな空間のなか開催できたことをとても感謝しています。

私たちは未来に繋がる創造の原動力となるこのご縁を大切に、サウンドヒーリングを根強くしていきたいという思いから、今年ファシリテーターを受講された方々や、今まで長崎で受講されている方々と毎月定期的に練習会を行っています。技術や意識を高め、みんなでシェアをし皆さんから様々なことを学んでいる私たちです。練習会の仲間と一緒に参加した東日本大震災チャリティーイベントでは、沢山のお客様がサウンドヒーリングブースに足を止めて下さいました。ブースから響く屋久島の清流音の心地よさや、ダイレクトに体に響く体感音響を体験され、音に興味を持って下さる方々が多くいらっしゃいました。今、正に必要なのは愛、感謝、調和、平和な意識！更に、中村会長、喜田理事長、ニーニャさんから沢山教えて頂いたまごころを響かせることではないでしょうか。心地よい音を聴いたり、まごころのこもった言葉(音)を発することで、周りにいる人達をも幸せに包み込むこの音の力に本当に驚かされます。

私たちは2013年もこの学びを活かし、更にサウンドヒーリングライフを発展させていきたいと思います。2013年の2月には第2回ファシリテーター資格認定研修会を開催します。一緒に長崎を、九州を、日本を…輝かせましょう！



北九州 11月18日

## 『喜びと感謝に満たされた究極の一日』

主催：サロン タイト  
セラピスト15期生 小坂 典子  
セラピスト16期生 板垣 文子



山口県下関市サロンタイト主催のサウンドヒーリング講演会は、今年で第三回目となりました。舞台を、関門海峡を挟んだ隣の北九州市門司区に移し、サウンドヒーリングメソッドの素晴らしさを、さらに多くの方に体験して、知って頂きたいとの思いで、他県を巻き込んだの壮大なプロジェクトにチャレンジいたしました。

下関・北九州のサウンドヒーリングメンバーの協力もあり、予想を上回るお客様にご来場いただきました。また今までは、小さいお子様のご来場を控えておりましたが、会場を変える事をきっかけに、親御様とご参加いただきました。これがまた新しい気づきとなり、子供たちの持つピュアな心が会場の暖かな空気と共鳴し、会場のお客様や、私たちスタッフの心まで、静かにゆっくりと癒される心地よさを感じました。

喜田理事長の講演内容も、回を増すごとにお客様の共感を得、今まで全ての講演会にご参加頂いたお客様はもとより、初めての方もお話に感動し涙され、さらにニーニャさんのレゾナンス・ライブにも涙する方がいました。今年からクリスタルボウルを使用したレゾナンスに、殆どの方が初めての体感で、様々な影響を心身ともに感じたとの感想も頂きました。

この度の講演会は、最初から最後まで温かく、会場全体がリラックスし、光が満ち溢れたものでした。全国から応援に駆けつけて下さいましたセラピスト・ファシリテーターの皆様とも、地域の境なく全員がおもてなしの心で一つとなり、誰もが主催者の意識を持って創造した講演会に仕上がったと感じました。喜びと感謝に満たされた究極の一日であったと思います。講演会終了後も、新しい出会いや、未来へ向かっての強い絆、心と心の糸をさらに深いところで紡いでいける信頼関係が出来るなど、多くのギフトを頂いております。

これからも更に知識を広げ、今の自分に出来る最大のセラピストとしての品格や、おもてなしの心を充実させて行き、サウンドヒーリングのすぐその壮大な未来に向けて力を発揮出来るよう奮起いたします。



# セラピスト活動報告 — Therapist —

## サウンドヒーリングセラピスト 16期生 杉山 洋一さん



私は現在、東京の田園調布 長田整形外科にて、リハビリテーションスタッフ／サウンドヒーリングセラピストとして従事しています。

当院では、長田夏哉院長のもと、body-mind-spirit の全人的視点を大切に、心身の不具合を「とりのぞく」のではなく「ひきうける」という新たな視点を提案し、すべての人に備わっている自発的治癒システムを発動させ「真の健康 well-being」をサポートすることを治療理念に掲げています。

私は小さい頃からスポーツが好きで、サッカーやスノーボードを長年やっていました。10代の頃からスノーボードを競技として始め、22歳の時にメーカーとアマチュア契約をし、雪を求め、1年の半分近い期間を雪山で過ごす生活をしていました。危険が伴うスポーツ故に怪我が絶えず、半月板損傷、靱帯損傷、肩鎖関節脱臼、腰椎胸椎圧迫骨折など...様々な怪我を経験してきました。最終的には怪我が長引き、新たな怪我が増え、心身共に負担に耐えられなくなった27歳の時、競技人生を終えました。

今考えると当時は身体の怪我と同時に、心の落ち込みと激しい葛藤を抱えていたことを思い出します。そして今までの人生をリセットし、自然な流れで出会ったのがサウンドヒーリング、そして田園調布 長田整形外科でした。

私は初めてサウンドヒーリングの施術を受けた時、私のガチガチに固まった体が驚くほど緩み、今までに味わったことのない癒しと感動に包まれたことを覚えています。その後の自分自身への実験的な施術では、肩や膝の古傷の痛みが消えていくのがわかりました。「音は大きな可能性を秘めている」まさにそう確信しました。

現在、当院では様々な疾患の患者様にサウンドヒーリングをおこなっています。例えば、別々の整形外科疾患を持つ数名の方を対象とした施術前後のVAS評価による痛みの変化の臨床実験では、平均で約1/3の痛みの軽減がみられ、個人においても、毎回の施術ごとに痛みが全く消えるという方も見受けられました。また、骨粗鬆症の方の骨密度が上昇していくというようなデータもあります。

上記についてはまだ臨床実験中ですが、その他定期的な施術を受けられている患者様の声からは、「便秘が改善された」「夜トイレに起きなくなった」「イライラしなくなった」「自律神経の薬を飲まなくなった」等の声をいただいています。整形外科領域という枠内だけではなく、患者様のホリスティックな変化が日々見て取れることを感じています。

"音は体と心と魂に調和をもたらしてくれるちからがある" 私はこの音のちからと共に、日本の、そして地球の素晴らしい未来を創造していきたいと思います。そして少しでも、人々のために貢献できることを望んでいます。

今後は更に様々な視点での評価も取り入れながら、皆様の真の健康のサポートに努力していきます。

